



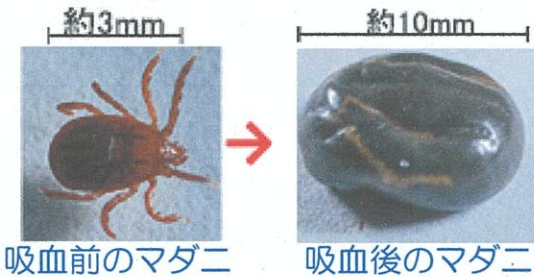
“マダニ”に注意しましょう！



桜台団地内で“マダニ”の被害がありました。

“マダニ”は、屋外にいる大型のダニで、感染症を媒介することがあります。刺されたら、すぐに医療機関を受診しましょう！

“マダニ”とは



“マダニ”は肉眼でも確認できる大型のダニ。成虫の大きさは3～10mmくらいまで種類により様々で、これが大きな特徴。野生動物に寄生する都合上、主に里山などの自然の豊かな場所（草などの先端）に多く生息。3月～11月ごろが活動期間。

“マダニ”から身を守るには

- 屋外（草むらのあるところ、山林など）に出かける場合
 - ・長袖等を着用し、皮膚の露出を抑える。
 - ・頭（帽子）、襟元（タオルを巻く）、ズボンの裾（絞る）などからの侵入を防ぐ。
 - ・外出先から戻ったら、玄関に入る前にまずマダニが付着していないか確認。洋服をたたいて払ったり、ガムテープ等でとったりすることもよい方法。
 - ・マダニの住みかを減らすため、家の周囲の雑草は片付けましょう！
- ペットにも要注意（特に室内犬）
 - ・散歩から帰ったら必ずブラッシングなどをして、マダニが寄生していないか確認する。

“マダニ”に刺されたときの対処方法

- 皮膚に付着したマダニは
 - ・ピンセットなどで無理に引きはがそうとしない。
（マダニの一部が皮膚の中に残って化膿する恐れ）
 - ・絶対につぶさない。（マダニの体液が逆流して人間の体内に入る）
《マダニを付けた状態で皮膚科を受診するようにしましょう！》
- 刺された後の体調をしっかり観察
2週間以内に理由の分からない発熱、倦怠感、嘔吐などの症状がみられた場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。

